

事業計画書 回答書

回答日 令和2年7月13日

キャレオス株式会社

3 提供サービス

保護者より土曜日営業の要望が多く、営業日を火～土曜日に変更する。

4 施設の概要

建築士に相談し、児童発達支援の用途において、適法となる計画である事を確認します。避難器具の設置を行う。また消防関連法に沿って、防火対象物使用開始届出書及び消防計画変更届出書を提出します。

8 必要な資金と調達方法

600万円から2000万円に変更。社内現預金から調達

9 事業の見通し

利用者数について、当法人では通常、放課後等デイサービス、開所時20人程度の登録者を確保している。本事業開所の際は、行政・相談支援事業所、HP、チラシ等を通じて、告知を行う予定。また専門医との連携も期待できるため、10か月程度で20名の登録を見越している。またサービス提供実施区域の小学校（御幸小学校、駅家小学校、駅家東小学校、駅家西小学校、宣山小学校、千田小学校）の生徒数は3000人を超し、そのうち特別支援学級に通う生徒が200名近い状況である。福山市においても最も必要性の高い地域である。

新型コロナウイルス感染症予防のために、法人内で月2回ミーティングを開催し、職員全体に予防策を徹底している。また地域に感染症が蔓延し、休業を余儀なくされる場合を想定し、6か月間の運転資金を用意している。事業所内での療育ができない状況においても、オンラインにて療育を継続する予定である。同法人の放課後等デイサービスにて、特別警戒区域（兵庫県、神奈川県）にて、ご利用者の同意を得て、オンライン療育を行った実績があり、児童発達支援にも展開することは可能。また協力医療機関（小児科）と併設しているため、迅速な医療連携ができる。また医療機関と同程度の消毒や清掃の体制が整っている。

11 平面図

建物全体の総合警備としてセコムと契約し、不審者が侵入した場合、通報や防犯センサーを通じて、警備会社に連絡が入り、警備員が派遣される防犯体制をとっている。倉庫は施錠されている。

2カ所ある階段前には扉を設置し、利用児の届きにくいところに上部に内鍵を設置している。突然の離脱を防止する。避難経路になる為、内側からサムターンで簡単に開錠できる。機能訓練室①は内側から施錠ができる。不審者が侵入した場合、施錠することで安全を確保できる。誤って利用児が内側から施錠した場合も、職員が鍵を使用して、開錠できる。

事業所の床は利用児が転倒しても怪我をしにくい素材である。

1.2 事業計画

療育形態について、利用者のアセスメントを行い、課題を抽出し、個別・集団（2～4人程度）で対応する。個別対応の利用者についても、小学校入学に向け集団形態の療育（遊戯、対話）に移行を試みます。

送迎は実施しない。

単独療育を基本とします。年齢や障害特性に応じて、親子療育を実施します。

1.3 利用者処遇

1点目：読書やジグソーパズル、絵を書くなどの集中力を高める活動ができるように工夫する。また、始まりの会では、簡単な運動を行い活動時のけがの予防に努める。

2点目：家族支援が5分間となっておりますが、状況に応じて後半の30分入室して、活動に参加いただき、家族支援も同様に行うことも予定する。また、面談の時間を延長し15分行う。また、モニタリングを利用者の支援中に行い、実際に支援を見学し、質問を受けることもできるよう体制を整える。また、保護者向け講演会も予定し、家族支援にも努めてまいります。（コロナ終息時）

3点目：他機関との連携は管理者・児童発達支援管理責任者が中心となり適宜連携をとるが、月に1度必ず園に出向き、支援の現状認識を実行する。

職員の研修は隔月で開催を予定している。

6月：児童発達支援事業について（夢門塾の理念と障がいの特性理解）

8月：虐待・身体拘束防止、権利擁護の研修

10月：緊急時の対処法（ケーススタディ）

12月：感染症について

2月：事例検討発表会（業務改善など）

4点目：始業時9：00～朝礼（申し送り、発声練習、本日の利用者・来所者の確認）

朝礼終了後から 9：45 までの時間は準備、MTG に活用する。

また、11：45~13：00 までの時間は昼休憩と次の準備に時間を充てる。

さらに、17：00~18：00 の時間はカンファレンスの開催、勉強会（児発管主導）を開催することにより利用者処遇の質の担保、改善に努める。

もちろん、全ての時間が利用者様でいっぱいになることもあるが、欠席などがある場合はその時間を利用し、教材の準備を、計画性をもって行う。